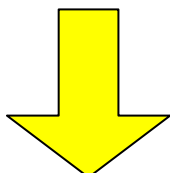




- ・台風や豪雨で、避難勧告等が発令された
- ・大きな地震が起き、火災や津波の恐れがある



避難時の心得

- ・原則、徒歩で避難（自動車を使わない）。
- ・高齢者等の避難を支援し、なるべく集団で避難。
- ・非常持出袋（食料、携帯トイレ、懐中電灯等）を持参。
- ・地震の場合は、ブレーカーを落として避難。

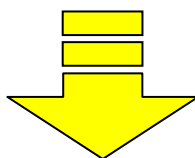
緊急避難場所へ

(災害の種類によって避難先が異なります)



- ・火災の恐れ ⇒ 広い空き地（公園やグラウンド）へ
- ・津波、洪水の恐れ ⇒ 浸水想定区域外か、学校の校舎（2階以上）へ
- ・土砂災害の恐れ ⇒ 土砂災害の危険区域外か、学校の校舎（2階以上）へ

※外出するほうが危険なときは、自宅や近隣建物の2階や崖から離れた所で待機



災害の危険が去った

(洪水や土砂災害、火災や津波の恐れがなくなった)

**家に被害があり
生活できないとき**



避難所へ

家に被害がないとき

家に戻る